



第61号
H25年10月23日

発行 結城地域農業改良普及センター
TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682
HP <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/noucenter/fukyu/yuki/>
<http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/nourinjimu/kensei/yuuki/index.htm>



八千代町の集出荷法人等が参集！ -八千代地域園芸振興情報交換会-



9月18日に結城普及センターにおいて、八千代町と近隣に位置する産地市場と集出荷法人等が集まり、園芸作物振興に関する情報交換会を実施しました。この情報交換会は、八千代町とその近隣の集出荷法人等が一丸となり、情報共有等を通じて協力体制を強化していくことを目的として昨年からはじめられ、今回で4回目となります。

まず、茨城県農産物販売推進東京本部及び普及センターからレタス、ハクサイ等の露地野菜品目の近年の販売情勢と今年の産地状況等について情報提供しました。これから秋野菜の出荷が本格化していく時期の開催ということもあり、販売や契約取引の参考にしたいと、参加者は熱心に耳を傾けていました。

その後、県の取り組んでいる農産物のPRについて県西農林事務所企画調整部門より説明し、次に、八千代町で取り組んでいるハクサイ鍋プロジェクトやゆるキャラ（八菜丸くん）を使った販売促進活動等について紹介しました。

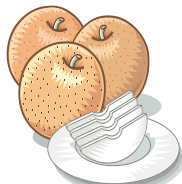
産地ブランドの形成のためには、販売面ではライバル関係であっても協力していくことも大切であるという意識の進展とともに、行政に対する要望なども聞くことができ大変有意義な情報交換会となりました。



情報交換会
の様子



今年の梨は肥大良好で甘い！来年は・・・？



本年は梅雨明け以降天候に恵まれ、肥大良好で糖度も高くとても高品質なナシが生産されました。

一方、開花期の低温と強風により着果不良の園も見られました。低温時には正常な花粉であっても発芽率が低下しますので、なるべく花粉を薄めずに受粉してください。また、強風により雌しべが乾燥すると受粉しづらくなるので、念のため、翌日以降別の花が咲いたときに再度受粉を行ってください。気象条件が悪い時ほど确实丁寧な人工受粉を心がけてください。

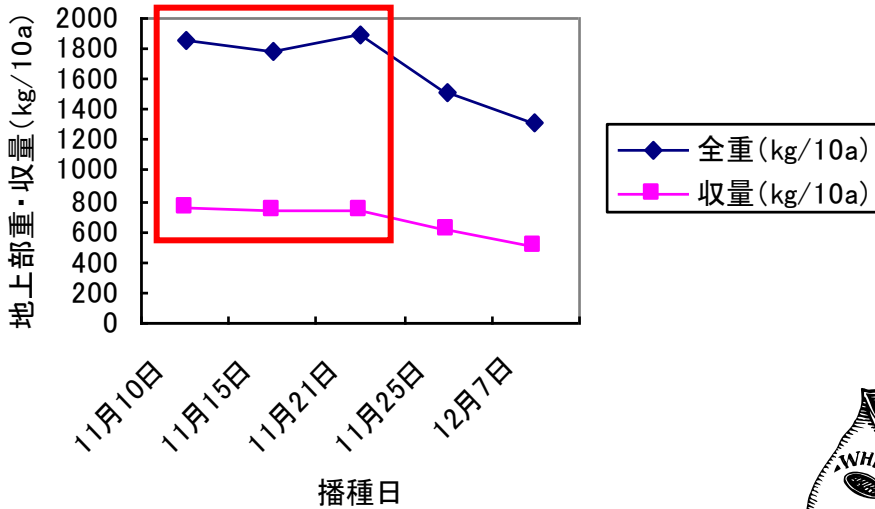
また、昨年ほどでは無かったものの黒星病が発生しました。黒星病は発生してからの防除では効果が低いため予防が重要です。菌の越冬を減らすため、収穫後の防除と落葉処理を徹底してください。

小麦の適期播種で品質向上・多収を達成しましょう！

小麦の播種が適正な時期より遅くなると、気温や日射量が生育に不適となり、収量や品質が低下してしまうことから、品質向上および多収を達成するには適期播種が重要です。

下のグラフは、小麦「さとのそら」の播種日が、収穫期の地上部重と収量に及ぼす影響を示しています。この結果を見ると、11月10日から20日ごろの地上部重・収量はほぼ同じである一方、11月25日以降に播種した場合は顕著に低下しました。したがって、「さとのそら」の播種日は、『11月10日から20日ごろ』が最適です。

収穫期における地上部重および収量と播種日の関係



適期に播種するためには、あらかじめ圃場の排水対策を行うことが重要です。これは、播種前の降雨によって圃場がぬかるんだ場合に作業が遅れるのを防ぐだけでなく、出芽後の生育を活発にする効果もあります。

普及センターは、今後も高品質・多収の小麦栽培へ向けた情報を発信していきます。その第一歩として、まずは適期播種を心がけてください。



病害虫について学ぼう！-第4回農業学園アグリ講座-

9月26日、「病害虫の種類と見分け方のポイント」をテーマに第4回農業学園アグリ講座を開催しました。

はじめに、ウイルス病・細菌病・菌類病・害虫における症状の特徴等の講義を行った後、顕微鏡を用いて実際に糸状菌の形態の観察を行いました。普段、肉眼では観察できない菌の形態を見られたことで、「はじめて見た！おもしろい！」など学園生は驚いている様子でした。実習中には、自家の栽培作物における病害虫の発生状況について、学園生同士で積極的に意見交換しており、より一層交流を深められた講座となりました。



病害虫ノート

軟化・腐敗・異臭が特徴！ -ハクサイ軟腐病-

主に葉および葉柄に発生します。発生初期には感染部が水浸状になり、病徴が進むと感染部から悪臭が発生し、枯死してしまいます。

本病の蔓延を防ぐには、窒素過多を避ける、被害株は見つけ次第抜き取って処分する等の対策が有効です。また、結球直前に根に傷をつけると本病にかかりやすくなることから、中耕作業時には注意してください。

